

公益財団法人 北九州国際交流協会

公益財団法人 北九州国際交流協会

I 法人の概要（平成 27 年 4 月 1 日現在）

1 所在地

北九州市八幡西区黒崎三丁目 15 番 3 号 コムシティ 3 階

2 設立年月日

平成 2 年 7 月 25 日

3 代表者

理事長 高城 壽雄

4 基本財産

300,000 千円

5 北九州市の出捐金

300,000 千円（出捐の割合 100.0%）

6 役職員数

	人 数			
	合 計	うち本市からの派遣	うち本市退職者	うちその他
役 員	7 人	0 人	1 人	6 人
常 勤	1 人	0 人	1 人	0 人
非常勤	6 人	0 人	0 人	6 人
職 員	11 人	2 人	1 人	8 人

7 市からのミッション

- ① 外国人市民が地域住民として日本人市民と対等に活躍できる社会を実現するため、外国人市民の社会生活適応と自立を支援する。
- ② 行政と市民団体、企業、大学などとの協働をコーディネーターとして促進することにより、外国人市民と日本人市民が共生できる活力ある社会をめざした地域づくりを行う。
- ③ 世界に開かれたまちづくりを進めるため、グローバル人材の発掘と育成を行う。国際的な視野と行動力を持つ若者を育てるとともに留学生等外国人高度人材への情報提供を密に行い、地域定着希望者への支援を行う。

II 平成 26 年度事業実績

本協会は、「多文化を受け入れ世界に開かれた魅力ある地域づくりと人づくり」という長期ビジョンの下、「1 外国人市民の支援」、「2 行政・民間団体連携」、「3 グローバル人材育成」の 3 つの分野における事業を実施した。

1 外国人市民支援事業

(1) 多言語による生活情報の提供

日本語を十分に理解できない外国人市民に対して、地域生活において必要となる情報を多言

語で様々な媒体や機会を利用して提供した。

① 外国人市民への情報提供

タイムリーな情報発信として、多言語でのメールマガジンを発行した。

メールマガジン登録者数：日本語 296 人、英語 59 人、中国語 46 人

韓国語 16 人、やさしい日本語 54 人

② ホームページによる広報

多言語（日本語・英語・中国語・韓国語）のホームページを活用して、最新のイベント情報や生活情報、協会事業や県内の国際交流など外国人市民への情報提供を行った。

アクセス数：日本語 26,662 件、英語 1,572 件、中国語 729 件、

韓国語 521 件、やさしい日本語 623 件

(2) コミュニケーション支援事業

コミュニケーションに困難を感じている外国人市民に対して、地域社会において孤立することなく、日本人と共生できるように支援を行った。また、日常生活の上で発生した悩みや課題を専門家と協力しながら、解決に向けての支援を行った。

① 外国人インフォメーションセンター

ア 専門家相談

*入国・在留・国籍手続き相談（福岡県行政書士会と共催で月に 1 回開催）

相談件数：32 件

*法律相談（福岡県弁護士会北九州部会の協力のもと月に 1 回開催）相談件数：18 件

*心理カウンセリング（臨床心理士による相談会を希望者に実施）相談件数：2 件

イ 一般相談

八幡西区及び小倉北区の 2 か所において、外国語相談員が日本語・英語・中国語・韓国語での相談業務や情報提供を実施した。相談内容によって前記の専門家相談へつなぐことで課題解決への一助となった。相談人数：606 人 相談件数：845 件

ウ 北九州外国人支援関係機関連絡会議の開催

外国人支援に関わる関係者の情報交換会を開催し、各立場での状況や内容について意見交換を行うことで関係機関の緊密な関係を築き、外国人の抱える課題や傾向について情報共有を行った。

開催日：9 月 11 日(木)、2 月 19 日(木)

場 所：北九州国際交流協会 ミーティングルーム

参加者：福岡県弁護士会、福岡県行政書士会、臨床心理士、保健師 他

② 行政通訳派遣業務

ア 外国人インフォメーションセンター小倉北区役所出張所

北九州市の委託を受けて、上記での外国人通訳サービス事業に行政通訳者を派遣し、外国人が区役所での手続きを円滑にできるよう通訳サービスを実施した。

派遣日数：51 日 派遣人数：英語 51 人、中国語 51 人

イ 行政通訳個別派遣

北九州市の委託を受けて、日本語によるコミュニケーションが困難な外国人市民のため

に、区役所や学校などに行政通訳者を無料で個別派遣した。

派遣件数：77件 派遣者数：79人

言語：中国語41人、英語16人、韓国語8人、タガログ語7人、
インドネシア語2人、モンゴル語1人、ネパール語1人、
ポルトガル語1人、ベトナム語1人、タイ語1人

内容：子育て支援①母関係（保健師等の妊産婦訪問指導等）・・・23件
子育て支援②子供関係（学校・保育所・児童相談所等）・・・19件
介護保険、老人保健福祉・・・11件 他

③ 外国人市民への防災支援

ア 外国人市民対象の防災講習会

日本語でのコミュニケーションが難しく、かつ災害に関する知識や経験があまりない市内在住外国人市民を対象に、日本で起こる災害や緊急時の対策について基本的な知識を学ぶ講習会を実施した。

内容：①119番通報練習 ②災害時のことばについてのワークショップ

協力：八幡西消防署予防課

*第1回 開催日：10月2日(木)

場所：北九州国際交流協会 交流スペース

参加者数：11人（中国2人、タイ4人、フィリピン4人、インドネシア1人）

*第2回 開催日：11月12日(水)

場所：こくらAIMビル3F（子育てふれあい交流プラザ）

参加者数：10人（中国5人、韓国2人、タイ1人、ベトナム2人）

イ 災害時通訳サポーターのフォローアップ

日本語によるコミュニケーションが難しい外国人に対し災害時に文化や習慣の違いを踏まえ、通訳あるいは翻訳等の言葉の支援を行う通訳者を対象にフォローアップ研修を行った。

*第1回 開催日：11月23日(日)

場所：九州国際大学平野記念館

参加者数：7人

内容：国際村やはたんピック～外国人+日本人
～仲良くカラダを動かそう～

*第2回 開催日：2月22日(日)

場所：北九州国際交流協会 ミーティングルーム

参加者数：20人

内容：災害緊急時の情報発信について

ウ 防災に関する広報ツールの作成

日本での防災対策として、多言語による緊急時の連絡先や発信される言葉についての啓発ツールを作成し、外国人市民やその関係機関へ配布した。

*多言語防災啓発シール

火事救急など緊急時の連絡先とその言葉について多言語によるシールを作成した。

内 容：緊急連絡先 119 番、110 番

外国人インフォメーションセンター（多言語相談対応）

言 語：日本語（ルビつき）、英語、中国語、韓国語 作成数：10,000 枚

*防災啓発手ぬぐい

緊急時に使われる言葉を視覚から覚えられるよう日用品を手段とした「防災啓発手ぬぐい」を作成した。

内 容：北九州市と気象庁から発する災害緊急時に使われることば

言 語：日本語（ルビつき）、英語、中国語、韓国語 作成数：500 枚

④ 医療通訳派遣事業

日本語でのコミュニケーションが難しい外国人市民が安心して医療機関を受診できるように、医療通訳者を医療機関などへ派遣した。また 6 月～3 月に制度周知を図るため無料お試しキャンペーンを実施した。

派遣件数：46 件 派遣人数：44 人

言 語：英語 11 人、中国語 24 人、タガログ語 8 人、韓国語 1 人

診 療 科：産科 16 件、内科 7 件、消化器内科 6 件、婦人科 5 件 他

⑤ 外国人子ども支援

外国につながるのある児童生徒のための学習支援・適応支援の場として「夏休みにほんごひろば」及び「放課後にほんごひろば」を実施した。

ア 夏休みにほんごひろば

夏休み期間中に集中して苦手な教科を克服したい、夏休みの宿題をひとりで終わらせるのが難しいという外国人の児童生徒や、日本語を学びたい保護者を対象に学習支援教室を実施した。

開催場所：本城西団地集会所 開催期間：8 月 5 日(火)～8 日(金)

参加者数：外国人 6 人（中国、インドネシア） 学生ボランティア：3 人

イ 放課後にほんごひろば

外国につながるのある児童生徒を対象に、教科学習や宿題のサポートを行う教室を市内 2 ヶ所で実施した。

【小倉】開催場所：北九州まなびと E S D ステーション

開催期間：5 月～2 月 毎週火曜日 開催回数：30 回

外国人参加者数：のべ 68 人（スリランカ、モロッコ）

ボランティア登録者数：6 人

【八幡】開催場所：北九州市立医生丘市民センター

開催期間：5 月～2 月 毎週木曜日 開催回数：29 回

外国人参加者数：のべ 191 人（インドネシア、中国）

ボランティア登録者数：11 人

⑥ 外国人生活者支援

地域で暮らす外国人を対象とした日本語教室を開催し、日本語習得支援に加えて生活に必要な情報提供を行った。

ア ママとパパのためのほんご教室

子育て中の外国人市民を対象に、日本で生活していくために必要な日本語や生活情報提供の場として市内2ヶ所で教室を実施した。

【小倉】開催場所：北九州市立子育てふれあい交流プラザ

開催期間：毎週水曜日 開催回数：42回

参加者数：のべ383人（中国、韓国、フィリピン、タイ、ベトナム、ブラジル、モンゴル、ケニア）

【八幡】開催場所：北九州市立子どもの館

開催期間：毎週木曜日 開催回数：42回

参加者数：のべ331人（中国、フィリピン、インドネシア、タイ、カナダ）

イ 生活者としての外国人を対象とした「日本語おしゃべり発表会」の開催

日本語教室のボランティアを中心とする実行委員会形式（事務局：協会）で、外国人住民が、年齢、在留資格、日本語レベル等を問わず参加できる発表会を開催した。発表会では、在住外国人の声を聴く機会とともに、発表者と来場者が交流できるプログラムを盛り込んだり、日本語教室の紹介パネルを展示するなどして、地域日本語教室の周知や国際理解のための機会とした。

開催日：2月1日（日） 開催場所：北九州市立美術館黒崎市民ギャラリー

発表者数：13人 来場者数：約150人

出身国：インドネシア、オーストラリア、ネパール、中国、ベトナム、バングラディッシュ、フィリピン

実行委員数：13人 実行委員会：全3回（11月、12月、1月）

ウ 地域日本語教室の広報支援

地域の日本語教室を支援するため、市内日本語教室リストを作成し区役所等で配布するとともに、協会のホームページにおいても情報提供を行った。

⑦ 中国帰国者の交流支援

北九州市の委託を受け、中国帰国者が地域社会で孤立することなく、社会的自立がなされるように、地域住民との交流会や学習会などを開催し、日本語会話教室も週1回開催した。

ア 交流会・学習会

開催日：5月30日 健康と体力についての講話、健康体操、太極拳、

10月5日 JICA九州感謝祭餃子作り協力ほか

11月26日 研修バスツアー（明太子工場見学、脇田温泉）

2月21日 春節交流会

3月4日 簡単・ラクな介助・介護の仕方講座

参加者数：のべ91人（通訳・ボランティア含む）

イ 中国帰国者のための日本語会話教室

開催日時：月4回程度 開催回数：40回 出席者数：のべ213人

ウ 会話パートナー研修

中国帰国者の会話パートナー（ボランティア）の活動に対する意義、理解を深めるための研修を実施。会話パートナー登録者数：7人

開催日：3月20日 参加者数：8人（新規2人）

(3) 多文化共生啓発事業

地域における多文化共生を推進するため、市民に対して多文化共生の地域づくりについて啓発を行った。

① 多文化共生啓発

学習会やイベントを通じて多文化共生へ啓発や理解を深める事業を実施した。

ア 市民カレッジ「外国人市民の声を聞いてみよう！」全5回

生涯学習総合センター事業の1コースのコーディネートを担当した。

第1回 6月7日(土) 多文化共生ってなんだろう？&外国人インフォメーションセンターで働く人の声を聞いてみよう！

第2回 6月21日(土) 中国帰国者から話を聞いてみよう！

第3回 7月5日(土) 通訳ボランティアに話を聞いてみよう！

第4回 7月19日(土) 北九州で学ぶ留学生の声を聞いてみよう！

第5回 8月2日(土) 日本語教室ボランティアの声を聞いてみよう！

場 所：八幡西生涯学習総合センター 参加登録：33人

イ 「多文化共生わいわい祭り」への出展、事業協力

主 催：多文化共生わいわい祭り実行委員会（北九州市、(公財)北九州YMCA、キーンネット、(公財)北九州国際交流協会）

開催日：9月15日(日) 会 場：北九州YMCA（小倉北区）

ウ JICA 25周年記念事業への出展、事業協力

主 催：JICA九州 開催日：10月5日(日) 会 場：JICA九州（八幡東区）

エ 「黒崎宿・国際交流文化祭」へのブース出展、事業協力

主 催：八幡西区役所

開催日：10月12日(日) 会 場：曲里の松並木公園（八幡西区）

オ 「市民ふれあいフェスティバル」へのブース出展、事業協力

主 催：北九州市社会福祉協議会

開催日：11月16日(日) 会 場：ウェルとばた（戸畑区）

カ タコマ市・ノーフォーク市両市姉妹提携55周年記念

九州交響楽団の奏で&国際交流の集い

主 催：北九州日米協会・北九州国際交流協会

開催日：11月20日(木) 会 場：ホテルクラウンパレス小倉（小倉北区）

② 多文化共生の人材づくり（ひとみらいプレイス受託事業）

北九州市はアジアにおける多文化共生推進都市をめざしたまちづくりを推進しており、そ

の実現のためには、地域で暮らす日本人と外国人とが互いの違いを理解し、お互いを尊重しあうことがとても重要である。そこで、外国の異文化を理解するための事業を行い、将来の多文化共生を担う人材育成を目指した。

ア 好きっちゃ北九州フォトコンテスト

外国人を対象に北九州市の好きな場所、風景、イベントなどの写真を募集し、一般選考を経て入選作を決定した。

応募総数：117点 表彰式：1月24日

一次審査：通過作品 113点 展示期間 11月5日～12月14日

入選作品：通過作品 30点 展示期間 1月24日～2月1日

イ 国際交流まつり～世界のママの味～

外国人ママの社会的な自立を支援し、かつ外国の文化について食を通じて理解してもらうためのイベントを「ひとみらい交流祭」期間中に実施した。

開催日：11月8日(土) 来場者：500人

出品国：7カ国（フィリピン、インドネシア、タイ、ブラジル、インド、中国、韓国）

ウ 「ネイティブの英語にふれよう」

英語を使ってネイティブと一緒にゲームを通じて交流し、ひとみらいプレイスの各施設を回って活動内容を理解するイベントを実施した。

開催日：3月28日(土) 参加者：16人

場 所：北九州国際交流協会 交流スペース、ひとみらいプレイス

エ キーネットパネル展

「北九州国際交流団体ネットワーク」加盟団体のうち、希望する19団体に活動内容を紹介するパネルを作成してもらい展示した。

開催期間：10月16日～11月11日 場 所：ひとみらいプレイス通路

オ ひとみらいプレイス入居団体パネル展

ひとみらいプレイスの入居10団体の活動内容と知名度を上げるため、各施設紹介のパネルを作成し展示した。

開催期間：3月20日～31日 場 所：ひとみらいプレイス通路

2 行政・民間団体連携事業

(1) 民間団体の支援・連携推進事業

北九州市が進める国際施策の一翼を担うことができるよう、北九州地域の国際交流団体の活動や資金等の支援を行った。

① 北九州国際交流団体ネットワーク（キーネット）支援

北九州地域の国際交流団体ネットワーク組織であるキーネットの加盟団体相互の情報交換等の活動を支援した。

② 民間団体の活動支援

本市の国際化及び多文化共生に貢献している民間団体の活動が、広く世間に評価されるように表彰事業に民間団体を推薦した。また、民間団体と連携・協働するとともに、民間団体

が開催する事業の共催や後援、当協会が配信するメールマガジンに情報提供し広報支援等を行った。

表彰推薦：13件（うち受賞11件） 共催：8件 後援：23件

③ 「国際村やはたんピック～外国人＋日本人 仲良くカラダを動かそう～」

八幡・国際通りを中心とする国際村交流会の構成団体と協力し、地域のまちづくりと北九州市の多文化共生を推進するため、地域住民である日本人と外国人を対象に「防災」を取り入れたゲーム感覚のレクリエーションを実施した。

開催日：11月23日（日・祝） 場所：九州国際大学体育館 参加人数：55名

(2) 行政との連携推進事業

① 行政通訳派遣（再掲）

ア 外国人インフォメーションセンター小倉北区役所出張所

イ 行政通訳個別派遣

② 外国人市民への防災支援（再掲）

ア 外国人市民対象の防災講習会 イ 災害時通訳サポーターのフォローアップ

ウ 防災に関する広報ツールの作成

③ 中国帰国者の交流支援（再掲）

ア 交流会・学習会

イ 中国帰国者のための日本語会話教室

ウ 会話パートナー研修

④ 多文化共生の人材づくり（再掲）

3 グローバル人材育成事業

(1) 国際理解教育の推進事業

異なるものを理解・尊重する社会的な土壌をつくるために、市民を対象にした国際理解教育を推進した。

① 国際理解教育講座の開催（福岡県・福岡市協働事業）

異文化理解に関心を持つ市民を対象に、世界の文化や習慣を体験的に学んでもらうため、小・中・高等学校や市民センター等へ外国人市民などを国際理解教育の講師として派遣する事業を福岡県、福岡市、北九州市の3協会の協働事業として実施した。

派遣先：北九州市内の小・中学校11件、市民センター1件、その他1件

派遣講師数：25人

② 国際交流員派遣

国際交流員が講師となり、市民センターや学校等で、自国の生活や文化などを紹介することにより市民の異文化理解を促進した。

依頼による派遣 派遣件数：8件（6月～12月）

派遣先：若松高校、門司学園中学校、嘉穂東高校、周望学舎、鳴水市民センター 他

③ 国際理解教育の推進

異文化理解を推進する事業を実施した。

ア 「Enjoy 英会話」

国際交流員が講師となり、英語で交流する講座を開催した。

- *第1回 開催日：8月2日～30日 全5回 参加者：8人
- *第2回 開催日：10月2日～30日 全5回 参加者：12人
- *第3回 開催日：11月29日～1月10日 全5回 参加者：10人

イ 外国語交流講座

3カ国語（中国語、韓国語、スペイン語）の外国語交流講座を開催し、外国人講師が、自国の言語で文化や生活習慣等についての紹介及び簡単な会話等を教え、市民に国際理解を深めてもらうとともに、外国人市民と市民との交流を図った。

開催回数：各言語 5回 開催場所：ミーティングルーム他

参加者数：中国語 のべ25人、韓国語 のべ28人、スペイン語 のべ44人

ウ 「英語（日本語）で語る自分の国」

海外出身者が自国の文化を紹介することで、海外の文化を生の声で聴き身近に感じてもらい、グローバル化する現代に必要とされる英語に親しむ機会を提供した。

開催回数：6回（6月～3月） 参加者数：のべ211人

④ インターンシップの受入れ

北九州市役所2人、北九州市立大学2人、黒崎中学校3人

(2) ホストファミリーの支援及び連携

国際交流や異文化体験を希望する家庭にホストファミリーボランティアとして登録してもらい、ホームビジットの実施や留学生と交流する機会の提供を行った。また、ホストファミリー同士の意見交換会を実施し、情報交換等を行った。

① ホームビジット

JICA研修員を家庭に招き、お互いの交流を通じて相互理解と親睦を深めた。

実施日：9月7日 参加者数：6人 受入家庭：4家庭

② 留学生にここご家族

市内大学に通う留学生とホストファミリーとの半年、または1年にわたる交流を支援した。また、留学生やホストファミリー同士の交流を深める交流会やバスツアーを実施した。

参加留学生数：48人（春期28人、秋期20人） 受入家庭：のべ43家庭

対面式：春期6月7日（土）・8日（日） 秋期10月18日（土）・19日（日）

*バスツアー交流会 開催日：11月15日（土） 目的地：飯塚・秋月

参加学生数：18人 参加ホストファミリー数：10家族（12人）

③ ホストファミリー意見交換会

プログラムに参加している家庭同士の情報交換や交流を深めるために意見交換会を実施した。

開催日：1月31日（土） 開催場所：北九州国際交流協会 ミーティングルーム

参加者数：ホストファミリー 7家庭（14人）

④ ホストファミリー向けイスラム料理講座

近年増えているイスラム圏出身のゲストの受け入れをよりスムーズにするため、インドネ

シア人の講師を迎え、イスラム教についての説明や、イスラム教徒に対応する料理の紹介などを行った。

開催日：1月31日(土) 開催場所：北九州国際交流協会 ミーティングルーム

参加者数：ホストファミリー 6家庭 (11人)

(3) 留学生等の支援

① 留学生への情報提供

新しく北九州市に転入してきた留学生に対して、大学のオリエンテーション等で生活に必要な情報や協会の外国人支援情報等を提供した。

② 留学生支援

ア 中古自転車の提供 提供台数：30台

北九州市建設局から提供を受けた中古自転車を修理再生後、各大学・専門学校の留学生担当課を通じて、希望留学生に提供した。

イ 「留学生なんでも相談会」の開催

留学生を対象に、福岡県留学生サポートセンターと協働で就職やアルバイト、生活全般に関する相談会を開催した。

実施日：6月27日(金) 参加者 5人、7月19日(土) 参加者 9人

ウ 「留学生と地元企業人との交流会」の開催

学研ボランティアの会と協働で留学生が就職活動の際に地元の企業にも目を向けるきっかけとなるよう、留学生と地元の企業で働く日本人との交流会を開催した。

実施日：10月25日(土) 参加者：留学生 120人、企業等 17人

エ 映画料金の割引

留学生は、北九州市内の映画館の窓口で学生証と在留カードを提示すれば、大学生料金1,500円が1,100円になる割引制度を映画興行組合の協力により継続実施した。

オ 留学生関係機関ヒアリング

北九州市の委託を受けて、北九州市が「(仮称)北九州市人材支援ネットワーク」設立の参考とするため留学生関係機関へのヒアリングを実施した。

③ 関原北九州大連友好基金事業

北九州市と大連市との友好交流に熱い情熱を燃やし、交流の発展を願い続けた故関原一夫・貞子ご夫妻のご遺志により、関原北九州大連友好基金が設立された。

亡きご夫妻のご遺志に添い、大連市との幅広い交流に生かすため、特に若者の将来に期待し、下記の事業を行った。

ア 大連市留学生奨学金支給

大連市出身若しくは大連市内の大学及び専門学校を卒業した人で、北九州市内の大学、短大等に留学している3人に、月額2万円を支給した。

イ 大連市大学生奨学金支給

大連市内の大学の日本語学科に在学中の中国人学生で、日本語を学び、且つ優秀な学力を有する者15人に、月額175円を支給した。

④ 留学生日本語弁論大会

母国を離れ日本で暮らす留学生たちが、日本での様々な体験を通じて感じたこと、考えていることを日本語で発表する場を提供した。

日本人にとっても留学生の声に耳を傾けることで様々な価値観や日本の姿を見直すきっかけとなるよう、また、留学生の日本語の上達に資することから、将来、国境を越えた国際交流への一助となることを願い本大会を開催した。開催にあたり八幡法人会、北九州小倉ライオンズクラブの協力を得て実施した。

開催日：12月14日(日)

発表者：書類審査を通過した10名(中国5名、ベトナム2名、韓国1名、フィリピン1名、インド1名)

⑤ 留学生関係機関連絡会

北九州市内の各大学・短期大学・高等専門学校で勉強している留学生をめぐる諸問題について、留学生担当で協議し、その解決に向けての方策等の検討及び意見交換の場として、年1回開催した。

開催日：3月6日(木) 場 所：八幡西生涯学習総合センター

(4) 青少年交流の促進事業

市内の青少年が、将来グローバルに活躍できる人材となれるように、海外の青少年との相互交流を促進した。

① 仁川市との青少年相互派遣

青少年の育成のみならず、姉妹都市である仁川市との交流をより一層深めることを目的に、青少年を相互に派遣する事業を仁川国際交流財団と協働で実施した。本年度は、北九州市の青少年(中学・高校生)が仁川市を訪問しホームステイ、レクリエーション、宿泊型の交流活動を行った。

開催期間：8月7日(木)～10日(日) 参加者数：青少年10人

② 仁川グローバルユースキャンプ2014への派遣

仁川市において「将来のグローバル・リーダーズ」をテーマに仁川市の大学生および姉妹都市の大学生が英語でディスカッションやプレゼンテーションを行うイベントが初めて開催され、北九州市代表として1名が参加した。

開催期間：7月1日(火)～6日(日)

(5) 市民ボランティアの育成

協会に登録したボランティアやグループの活動を支援し、その育成を図った。

① 協会ボランティア(登録数は2015年3月31日現在)

ア 行政通訳ボランティア(登録80人)

イ 医療通訳スタッフ(登録25人)

ウ 災害時通訳サポーター(登録51人)

エ 専門家相談通訳ボランティア(登録5人)

オ 中国帰国者交流支援ボランティア(登録7人)

カ ホストファミリーボランティア(登録103家庭)

キ 外国人親子のためのにほんごひろばボランティア（登録 16 人）

② ボランティア育成講座の実施

ア 行政通訳者研修 開催日：12 月 6 日（土）

テーマ：国民健康保険、国民年金、市県民税について 参加者：19 人

イ 医療通訳者研修

第 1 回 7 月 27 日（土） 参加者数 15 人

テーマ：医療通訳の総論、模擬通訳練習（産婦人科、小児科）

第 2 回 1 月 17 日（土） 参加者数：15 人

テーマ：言語別シナリオロールプレイ産婦人科、感染症指導、H I V 告知と治療について

ウ 災害時通訳サポーターのフォローアップ（再掲）

エ 中国帰国者交流ボランティア会話パートナー研修（再掲）

4 その他

(1) 広報活動

① 市政だより 掲載件数：75 件

北九州市が月 2 回発行する市公報「市政だより」に、協会が実施する事業やイベント情報等を掲載し、協会の P R に努めた。

② テレビ・ラジオ・新聞による報道

テレビ・ラジオ・新聞等から事業に関する取材を受け広報を行った。

取材及び広報件数 テレビ：6 件 ラジオ：1 件 新聞：7 件

③ 「ブックリサイクル」の開催

協会では不要になった図書をブックリサイクルとして一般市民に提供。

開催日：4 月 26 日（土）～27 日（日） 11 月 8 日（日）

また、所蔵図書については賛助会員向けのサービスとして、ひとり 3 冊まで 2 週間以内の貸し出しを開始した。

(2) 災害義援金等

キーネットと連携して、南太平洋サイクロン災害救援金の募金箱を設置し、日本赤十字社を通じて、現地での救護、復興活動を支援することとした。

設置期間：平成 27 年 3 月 25 日～平成 27 年 5 月 29 日

Ⅲ 平成 26 年度決算

1 貸借対照表 (総括表)

平成 27 年 3 月 31 日現在 (単位: 円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資 産 の 部			
1. 流 動 資 産			
現 金 預 金	15,663,462	23,330,736	▲ 7,667,274
未 収 金	5,937,299	5,637,116	300,183
前 払 費 用	26,730	82,000	▲ 55,270
流 動 資 産 合 計	21,627,491	29,049,852	▲ 7,422,361
2. 固 定 資 産			
(1) 基 本 財 産			
投 資 有 価 証 券	298,414,500	298,414,500	0
定 期 預 金	1,585,500	1,585,500	0
基 本 財 産 合 計	300,000,000	300,000,000	0
(2) 特 定 資 産			
留 学 生 等 支 援 基 金 積 立 資 産	52,266,111	55,140,128	▲ 2,874,017
特 定 資 産 合 計	52,266,111	55,140,128	▲ 2,874,017
(3) そ の 他 固 定 資 産			
車 両 運 搬 具	502,178	757,848	▲ 255,670
什 器 備 品	13,869	93,459	▲ 79,590
リ サ イ ク ル 預 託 金	8,830	8,830	0
ソ フ ト ウ ェ ア	820,260	1,137,780	▲ 317,520
そ の 他 固 定 資 産 合 計	1,345,137	1,997,917	▲ 652,780
固 定 資 産 合 計	353,611,248	357,138,045	▲ 3,526,797
資 産 合 計	375,238,739	386,187,897	▲ 10,949,158
Ⅱ 負 債 の 部			
1. 流 動 負 債			
未 払 金	1,843,574	7,680,464	▲ 5,836,890
前 受 金	194,000	160,000	34,000
預 り 金	524,814	647,254	▲ 122,440
未 払 消 費 税 等	0	1,144,400	▲ 1,144,400
未 払 法 人 税 等	0	434,700	▲ 434,700
流 動 負 債 合 計	2,562,388	10,066,818	▲ 7,504,430
負 債 合 計	2,562,388	10,066,818	▲ 7,504,430
Ⅲ 正 味 財 産 の 部			
1. 指 定 正 味 財 産			
寄 附 金	100,000,000	100,000,000	0
指 定 正 味 財 産 合 計	100,000,000	100,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	(100,000,000)	(100,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
2. 一 般 正 味 財 産	272,676,351	276,121,079	▲ 3,444,728
(うち基本財産への充当額)	(200,000,000)	(200,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(52,266,111)	(55,140,128)	(▲ 2,874,017)
正 味 財 産 合 計	372,676,351	376,121,079	▲ 3,444,728
負 債 及 び 正 味 財 産 合 計	375,238,739	386,187,897	▲ 10,949,158

2 正味財産増減計算書（総括表）

自 平成 26 年 4 月 1 日

至 平成 27 年 3 月 31 日（単位：円）

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	[4,702,178]	[4,702,178]	[0]
基本財産受取利息	4,702,178	4,702,178	0
特定資産運用益	[901,414]	[901,213]	[201]
特定資産受取利息	901,414	901,213	201
受取会費	[498,000]	[456,000]	[42,000]
受取賛助会費	498,000	456,000	42,000
事業収益	[5,310,882]	[41,086,038]	[▲ 35,775,156]
多文化共生拠点強化業務事業収益	0	4,568,340	▲ 4,568,340
指定管理業務等受託事業収益	0	31,607,895	▲ 31,607,895
医療通訳派遣事業収益	17,240	0	17,240
中国帰国者支援受託事業収益	2,298,233	2,367,241	▲ 69,008
コミュニティ通訳等派遣業務受託事業収益	996,805	1,399,532	▲ 402,727
外国人市民の防災支援受託事業収益	403,444	0	403,444
多文化共生の担い手づくり事業収益	974,160	984,900	▲ 10,740
いのちのたび博物館受託事業収益	0	158,130	▲ 158,130
北九州市国際人材支援ネットワーク設立準備業務収益	621,000	0	621,000
受取補助金等	[49,853,380]	[58,075,286]	[▲ 8,221,906]
受取北九州市補助金	49,458,000	55,097,000	▲ 5,639,000
受取自治体国際化協会助成金	0	2,580,731	▲ 2,580,731
受取その他の助成金	395,380	397,555	▲ 2,175
受取負担金	[0]	[1,000,000]	[▲ 1,000,000]
受取負担金	0	1,000,000	▲ 1,000,000
受取寄附金	[1,099,097]	[434,757]	[664,340]
受取寄附金	99,097	434,757	▲ 335,660
受取特定寄附金	1,000,000	0	1,000,000
雑収益	[828,883]	[898,583]	[▲ 69,700]
受取利息	3,547	2,792	755
その他雑収益	825,336	895,791	▲ 70,455
経常収益計	63,193,834	107,554,055	▲ 44,360,221
(2) 経常費用			
事業費	[63,884,634]	[104,720,561]	[▲ 40,835,927]
役員報酬	5,836,800	5,426,400	410,400
給料手当	27,194,325	39,752,293	▲ 12,557,968
臨時雇賃金	5,415,705	9,070,149	▲ 3,654,444
福利厚生費	6,850,181	8,640,292	▲ 1,790,111
材料費	108,659	140,398	▲ 31,739
奨学金	1,342,222	1,659,195	▲ 316,973
旅費交通費	1,929,434	2,619,120	▲ 689,686
通信運搬費	765,627	1,531,173	▲ 765,546
減価償却費	301,238	394,793	▲ 93,555
消耗什器備品費	131,240	564,980	▲ 433,740
消耗品費	448,624	2,271,115	▲ 1,822,491
修理費	0	1,548,838	▲ 1,548,838
修繕費	0	4,616,850	▲ 4,616,850

車	兩	費	235,885	304,150	▲ 68,265
印	刷	製	800,101	609,053	191,048
光	熱	水	1,918,758	1,952,136	▲ 33,378
リ	一	ス	150,822	160,650	▲ 9,828
使	用	料	3,351,073	8,736,019	▲ 5,384,946
災	害	保	210,808	387,730	▲ 176,922
報		償	2,567,470	2,080,078	487,392
租	税	公	368,516	1,972,249	▲ 1,603,733
支	払	負	310,000	2,400,000	▲ 2,090,000
委		託	860,802	6,550,500	▲ 5,689,698
函		書	25,174	256,469	▲ 231,295
食		糧	147,504	395,703	▲ 248,199
雜		費	2,613,666	680,228	1,933,438
管	理	費	[2,719,906]	[2,868,643]	[▲ 148,737]
役	員	報	372,200	375,600	▲ 3,400
給	料	手	374,127	389,465	▲ 15,338
福	利	厚	107,828	107,012	816
会		議	27,834	40,273	▲ 12,439
旅	費	交	4,700	6,720	▲ 2,020
通	信	運	14,529	7,821	6,708
減	価	償	317,520	317,520	0
消	耗	品	1,215	1,181	34
印	刷	製	1,393	4,252	▲ 2,859
光	熱	水	96,124	88,888	7,236
リ	一	ス	7,938	7,938	0
使	用	料	56,193	55,857	336
租	税	公	13,734	19,551	▲ 5,817
支	払	負	100,000	140,000	▲ 40,000
委		託	977,400	1,023,750	▲ 46,350
交		際	80,699	99,273	▲ 18,574
雜		費	166,472	183,542	▲ 17,070
經	常	費	66,604,540	107,589,204	▲ 40,984,664
当	期	經	▲ 3,410,706	▲ 35,149	▲ 3,375,557
2.	經	常			
(1)	經	常			
經	常	外	0	0	0
(2)	經	常			
除	却	損	[34,022]	[0]	[34,022]
什	器	備	34,022	0	34,022
經	常	外	34,022	0	34,022
当	期	經	▲ 34,022	0	▲ 34,022
税	引	前	▲ 3,444,728	▲ 35,149	▲ 3,409,579
法	人	税	0	434,700	▲ 434,700
当	期	一	▲ 3,444,728	▲ 469,849	▲ 2,974,879
一	般	正	276,121,079	276,590,928	▲ 469,849
一	般	正	272,676,351	276,121,079	▲ 3,444,728
II	指	定			
当	期	指	0	0	0
指	定	正	100,000,000	100,000,000	0
指	定	正	100,000,000	100,000,000	0
III	正	味	372,676,351	376,121,079	▲ 3,444,728

IV 平成 27 年度事業計画

本協会は、「多文化を受け入れ世界に開かれた魅力ある地域づくりと人づくり」という長期ビジョンの下、「1 外国人市民の支援」、「2 行政・民間団体連携」、「3 グローバル人材育成」の3つの分野における事業を実施する。

1 外国人市民支援事業（32,453 千円） [26 年度 33,041 千円]

(1) 多言語による生活情報の提供（1,669 千円） [26 年度 1,878 千円]

日本語を十分に理解できない外国人市民に対して、地域生活において必要となる情報を多言語で様々な媒体により提供する。

① 外国人市民への情報提供

外国人市民向けに毎月、英語・中国語・韓国語・やさしいにほんごでメールによる情報提供を行う。また、あわせて印刷版もスペース等で配布する。

② ホームページによる広報

日本語・英語・中国語・韓国語・やさしいにほんごによる多言語ホームページによるリアルタイムな情報提供を行う。

(2) コミュニケーション支援事業（28,218 千円） [26 年度 27,971 千円]

コミュニケーションに困難を感じている外国人市民に対して、地域社会で孤立することなく日本人と共生できるように支援を行う。

① 外国人インフォメーションセンター

日本語・英語・中国語・韓国語による外国人相談及び情報提供を八幡西区コムシティ及び小倉北区役所において行う。また、専門家による法律、ビザ・入管関係、日常生活での悩みごとの無料専門相談会を毎月 1 回実施する。

② 行政通訳派遣業務

外国人市民への行政サービスの手助けとして、区役所や学校等から要請があった場合、行政通訳者を派遣する。また、外国人インフォメーションセンター小倉北区役所出張所での通訳サポートも行う。

③ 外国人市民への防災支援

災害時に弱者となりやすい外国人支援のため、防災啓発や災害時通訳サポーターの拡充とフォローアップ研修を実施する。

④ 医療通訳派遣

外国人市民が安心して医療を受けられるように、病院からの依頼があった際に医療通訳者を病院に派遣する。

⑤ 外国人子ども支援

多文化の子どもたちの日本語能力の向上と学習支援事業を実施する。

⑥ 外国人生活者支援

地域で暮らす外国人を対象とした日本語教室を開催し、日本語習得支援に加えて生活に必要な情報提供を行う。

⑦ 中国帰国者の交流支援

中国帰国者が地域社会で孤立することなく、社会とのつながりができる居場所づくりを提供し、生活適応のための日本語学習会等を開催する。

(3) 多文化共生啓発事業 (2,566 千円) [26 年度 3,192 千円]

地域における多文化共生の推進のために、市民に対して多文化共生の地域づくりについて啓発を行う。また、平成 27 年度は北九州国際交流協会設立 25 周年であり周年事業として地域の問題や人権等に関する学習会等を開催し、多文化共生について考える機会を提供する。

① 多文化共生啓発

多文化共生についてより深く理解し身近に感じてもらうため、市民や市民団体等に対し学習会やイベントなどを通して、多文化共生の啓発を行う。

② 多文化共生の人材づくり

多文化共生を担う人材の育成を行う事業を「北九州ひとみらいプレイス」において実施する。

2 行政・民間団体連携事業 (3,421 千円) [26 年度 4,369 千円]

(1) 民間団体の支援・連携推進事業 (3,421 千円) [26 年度 4,369 千円]

北九州地域の国際化及び多文化共生を推進するため、市民団体の活動支援や連携を図る。

① 北九州国際交流団体ネットワーク（キーネット）支援

キーネットの目的を達成するための活動を支援するため事務局として活動する。

② 民間団体の活動支援

本市の国際化及び多文化共生に貢献している民間団体の活動が、広く世間に評価されるように表彰事業に民間団体を推薦する。また、民間団体と連携・協働するとともに、民間団体が開催する事業の共催や後援、広報支援等を行う。

(2) 行政との連携推進事業（再掲 14,282 千円）

① 行政通訳派遣（再掲）

外国人市民への行政サービスの手助けとして、区役所や学校等から要請があった場合、行政通訳者を派遣する。また、小倉北区役所での外国人インフォメーションセンターの通訳サポートも行う。

② 外国人市民への防災支援（再掲）

災害時に弱者となりやすい外国人支援のため、防災啓発や災害時通訳サポーターの拡充とフォローアップ研修を実施する。

③ 中国帰国者の交流支援（再掲）

中国帰国者が地域社会で孤立することなく、社会とのつながりができる居場所づくりを提供し、生活適応のための日本語学習会等を開催する。

④ 多文化共生の人材づくり（再掲）

多文化共生を担う人材の育成を行う事業を「北九州ひとみらいプレイス」において実施する。

3 グローバル人材育成事業（11,761千円） [26年度 11,123千円]

(1) 国際理解教育の推進事業（1,144千円） [26年度 1,157千円]

異なるものを理解・尊重する社会的な土壌をつくるために、市民を対象にした国際理解教育を推進する。

① 国際理解教育講師の派遣・紹介

小・中学生や異文化について興味のある市民を対象に、世界の文化や習慣を体験的に学習してもらうため、外国人市民等を国際理解教育の講師として小・中学校、市民センター等に派遣する事業を福岡県国際交流センター・福岡国際交流協会・北九州国際交流協会の協働事業として実施する。

② 国際交流員派遣

国際交流員を小学校や市民センター等に講師として派遣し、自国の文化等を紹介することにより市民の異文化理解を促進する。

③ 国際理解教育の推進

異文化理解を推進し多文化共生社会を推進するための事業の実施もしくは協力を行う。

(2) ホストファミリーの支援事業（2,997千円） [26年度 2,922千円]

国際交流や異文化の体験を希望する家族をホストファミリーとして登録し、ホームビジットの機会の提供や交流会を実施する等、ホストファミリーの支援を行う。

① ホームビジット・留学生にこにこ家族

JICA研修員を家庭に招き、お互いの交流を通じて、相互理解と親睦を深めるホームビジットを実施する。また、大学等に通う留学生とホストファミリーとの長期交流を支援する「留学生にこにこ家族」を実施する。

(3) 留学生等の支援事業（5,336千円） [26年度 5,158千円]

市内の大学等に通う留学生に対して生活支援を行うとともに、留学生が日頃の考えを発表する機会を提供する。また、大連市出身又は大連市内の大学又は専門学校を卒業し、北九州市内の大学、短期大学等に留学している者に奨学金を支給する。

① 留学生への情報提供

新しく北九州に転入してきた留学生に対して、生活に必要な情報や協会の外国人支援情報等を提供する。

② 留学生支援

市内の留学生等を対象にした中古自転車のあっせん事業を実施する。また、各大学の留学生担当及び留学生支援機関を集めて、意見交換のため留学生関係機関連絡会議を実施する。

③ 関原北九州大連友好基金

大連市出身又は大連市内の大学又は専門学校を卒業し、北九州市内の大学、短期大学等に留学している者3名程度に奨学金（月額2万円）を支給する。また、大連市内の大学に在学中の中国人学生で日本語を学び、かつ、優秀な学力を有する者15名程度に、奨学金（月額175元）を支給する。

④ 留学生弁論大会

北九州市内在住などの留学生が感じたことを発表してもらい、留学生の日本語学習の意欲

増進と、日本人が留学生を理解する一助とするため弁論大会を開催する。

(4) 青少年交流の促進事業 (2,242 千円) [26 年度 1,839 千円]

市内の青少年が、将来グローバルに活躍できる人材となれるように、海外の青少年との相互交流を促進する。

① 仁川市との青少年相互派遣

青少年の育成のみならず、姉妹都市である仁川市との交流をより一層深めることを目的に、青少年を相互に派遣する事業を北九州市及び仁川国際交流センターと協働で行う。

(5) 市民ボランティアの育成事業 (42 千円) [26 年度 47 千円]

北九州地域の国際交流や多文化共生を進めるための協力者として、その能力を十分発揮できるよう、市民ボランティアの育成を図る。

① ボランティア育成講座の実施

協会事業をサポートするボランティアや、国際交流や多文化共生事業に関係する市民ボランティアの能力を向上させるため、講習会等を実施し、活動のための支援を行う。

V 平成 27 年度予算

1 収支予算書(総括表)

自 平成 27 年 4 月 1 日

至 平成 28 年 3 月 31 日 (単位: 千円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	[4,526]	[4,701]	[▲ 175]
基本財産受取利息	4,526	4,701	▲ 175
特定資産運用益	[920]	[920]	[0]
特定資産受取利息	920	920	0
受取会費	[700]	[600]	[100]
賛助会員受取会費	700	600	100
事業収益	[4,203]	[4,603]	[▲ 400]
外国人市民への防災支援受託事業収益	404	404	0
コミュニティ通訳等派遣受託事業収益	999	999	0
人材育成受託事業収益	500	900	▲ 400
中国帰国者支援受託事業収益	2,300	2,300	0
受取補助金等	[49,441]	[49,458]	[▲ 17]
受取北九州市補助金	49,441	49,458	▲ 17
受取寄附金	[400]	[1,400]	[▲ 1,000]
受取寄附金	400	400	0
特定寄附金	0	1,000	▲ 1,000
雑収益	[490]	[320]	[170]
受取利息	20	20	0
その他雑収益	470	300	170
経常収益計	60,680	62,002	▲ 1,322
(2) 経常費用			
事業費用	[65,097]	[66,584]	[▲ 1,487]
役員報酬	5,860	5,837	23
給料手当	29,239	31,586	▲ 2,347
臨時雇賃金	5,839	3,862	1,977
福利厚生費	7,014	7,219	▲ 205
旅費交通費	1,840	2,150	▲ 310
通信運搬費	999	1,025	▲ 26
減価償却費	260	320	▲ 60
消耗什器備品費	830	150	680
消耗品費	794	1,084	▲ 290
材料費	135	95	40
修繕費	50	50	0
車両費	250	185	65
印刷製本費	276	397	▲ 121
光熱水料費	2,034	2,223	▲ 189
リース料	143	148	▲ 5
使用料賃借料	3,302	3,273	29

災害保険料	121	226	▲ 105
報償費	1,249	1,424	▲ 175
租税公課	988	988	0
奨学金	1,360	1,360	0
食糧費	350	110	240
支払負担金	250	250	0
図書費	50	80	▲ 30
委託費	1,452	2,071	▲ 619
雑費	412	471	▲ 59
管理費	[2,984]	[2,733]	[251]
役員報酬	443	442	1
給与手当	402	187	215
福利厚生費	108	98	10
会議費	50	60	▲ 10
旅費交通費	10	10	0
通信運搬費	10	10	0
減価償却費	318	318	0
消耗品費	4	3	1
印刷製本費	3	3	0
光熱水料	102	117	▲ 15
リース料	16	16	0
使用料賃借料	149	168	▲ 19
租税公課	30	30	0
交際費	75	70	5
支払負担金	100	100	0
委託費	979	935	44
雑費	185	166	19
経常費用計	68,081	69,317	▲ 1,236
当期経常増減額	▲ 7,401	▲ 7,315	▲ 86
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
固定資産売却益	1,223	0	1,223
経常外収益計	1,223	0	1,223
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	1,223	0	1,223
当期一般正味財産増減額	▲ 6,178	▲ 7,315	1,137
一般正味財産期首残高	268,806	276,121	▲ 7,315
一般正味財産期末残高	262,628	268,806	▲ 6,178
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	
指定正味財産期首残高	100,000	100,000	0
指定正味財産期末残高	100,000	100,000	0
III 正味財産期末残高	362,628	368,806	▲ 6,178

※前年度の一般正味財産期首残高は、前々年度の決算額で調整した金額である。

VI 役員名簿等

1 役員名簿

平成 27 年 7 月 1 日現在

役職名	氏名	備考
理事長	高城 壽雄	(公財)北九州国際交流協会理事長
専務理事	高原 義弘	(公財)北九州国際交流協会専務理事
理事	池本 綾女	副都心黒崎開発推進会議副幹事長
〃	井崎 宏	独立行政法人国際協力機構九州国際センター所長
〃	廣澤 洋子	北九州国際交流団体ネットワーク会長
監事	小石 佐織	北九州市総務企画局国際部長
〃	西妻 安治	(株)福岡銀行取締役常務執行役員北九州本部長

2 市との特命随意契約の状況（平成 26 年度実績）

市からの特命随意契約による委託の状況			左のうち外郭団体からの再委託の状況				
委託業務名	委託金額 (千円)	特命理由	再委託の 業務内容	委託 金額 (千円)	契約相手	契約方法	特命随意契約の 場合その理由
外国人市民の防災支援事業	403	災害時通訳サポーターについてのノウハウ・ネットワークを有し、同様のネットワークを抱えている団体が他にないため。	再委託なし				
中国残留邦人等日本語教室及び交流事業	2,298	中国残留邦人等に対する日本語教室等の実施経験を有し、八幡地区に居住する多くの中国残留邦人等の継続的な通学が見込める西部地区での教室開催が唯一可能な団体であるため。	再委託なし				
(仮称)北九州国際人材支援ネットワーク設立準備業務	621	留学生関係団体とのネットワーク及び留学生支援についてのノウハウも豊富であり、他に同様の業務を担える団体がいないため。	再委託なし				
多文化共生の担い手づくり事業	975	北九州ひとみらいプレイスの「連携事業」の一環であり、プレイスに組織し、国際関連団体とのネットワークがある組織でないと履行が期待できない。	再委託なし				
合計	4,297		合計	0			